

やまび

Vol.37

- 第19回 通常総代会 開催……………2
- 組合長あいさつ……………3
- 新役員の紹介……………4
- 新役員執行体制／組織機構図……………5
- 総代名簿……………6
- 農林中金80周年森林再生基金……………7
- 組合の活動 あれこれ……………8・9
- 森林のはたらき／森林レシピ……………10
- ニューフェイス紹介……………11
- 組合からのお知らせ……………12





第19回通常総代会開催

全議案 原案通り承認

三月二十日、第十九回通常総代会を上小森林センターにおいて開催しました。総代一八九名（内委任状八〇名）が出席し、議長に上田市の依田儀明氏を選任して議事が進められ、九議案全てが原案通り可決承認されました。

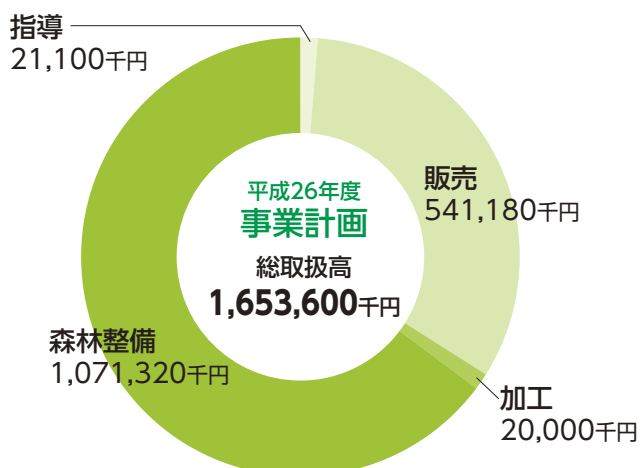
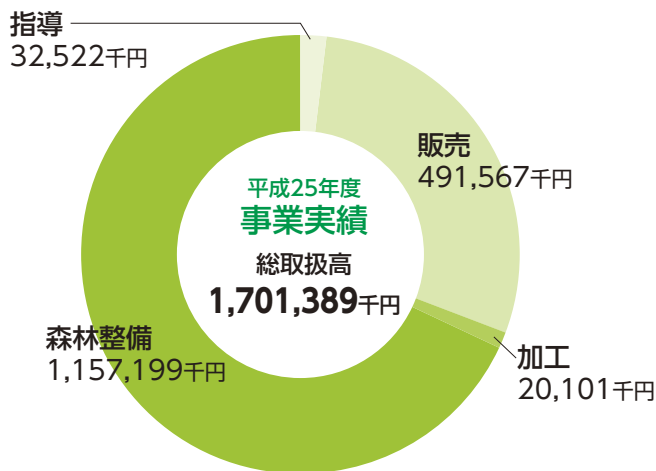
■平成二十五年度

事業報告

地域林業の担い手として、「森林づくりから組合員と地域へ貢献する」を旗印に事業を進めました結果、各部門において計画を上回る事業実績を上げることができ、とりわけ森林整備部門においては、個人有林・共有林を中心に搬出間伐事業を実施し、約三万二千立方メートルの木材を生産するなど、地域産材の利用拡大に貢献することができましたことが報告されました。

■平成二十六年 事業計画

地域林業の活性化を目指し、森林管理体制の確立と地域産材の安定供給に努めると共に、経費負担の軽減と収入の得られる搬出間伐の推進、人材の確保と育成などを柱とし、引き続き地域林業の担い手としての役割を果たしていくことが決定されました。



また、任期満了に伴う役員選任では、理事十三名、監事三名の候補者が選任され、大久保守氏が学識経験者に選任されました。

最後に、来賓として出席していただきました、長野県上小地方事務所 藤森所長様、東信森林管理署の日高署長様、長野県森林組合連合会の林副会長様、石川県議会議員様より祝辞を賜り、平成二十六年第十九回通常総代会は終了しました。

健全な森林づくりを目指して

— 緑豊かな住みよい郷土 —



代表理事組合長
大久保 守

組合員の皆様には、常日頃より森林組合の振興・発展に対し、暖かいご理解とご協力をいただいておりますことに、紙面を通じて心から感謝と御礼を申し上げます。

私こと、去る三月二十日開催の総代会におきまして、二期目の代表理事組合長に選任されました。浅学菲才の身ですので、組合員の皆様のお力をいただきながら、「組合員のための組合」を基本理念に据え、地域林業の中核的な担い手として役職員一枚岩になって頑張つてまいりますので、よろしくご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

当森林組合も上田市・小県郡一円の大規模組合として平成七年に合併以

来十九年を迎えることができました。この間、組合員をはじめ国・県・市町村・関係団体等々の皆様のご理解とご協力、ご支援を賜りまして、着実に経営の安定化が図られてきております。

さて、日本経済は、政権が交代し、昨年はアベノミクスが発表され、景気の好転を期待しておりましたが、まだまだデフレ脱却もままならない現状であり、アベノミクス効果による景気の回復が一日も早く地方においても実感できる安定した社会経済の構築を望むところであります。

さて、こうした中であつて、森林・林業を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。戦後植林した人工林資源が着実に成長し、現在は樹齢が五十年前後の主・間伐期の利用段階に入りつつあります。しかしながら、路網整備や施業集約化の遅れなどから生産性が低く、また、材価も低迷する中、森林所有者の林業への関心が低下しており、自分の

森林の所有や境界すら判明できない組合員が多くなつてきており、森林の適正管理がままならない状態にあります。

このため、国において平成二十一年末に森林・林業再生プランが公表され、今後十年間を目標に、路網の整備、森林施業の集約化及び人材育成を柱とした効率的かつ安定的な林業経営基盤づくりを進めるとともに、木材の

安定供給と利用に必要な体制を構築することを目指す。これを目的とした目指すべき姿や各種施策が打ち出されて、鋭意その管理実行が進められているところであります。その目指すべき姿は、現在の木材自給率二十八%前後を十年後の三十二年には五十%以上とすることです。このため、長野県においても、素材生産量について、現在の三十三万m³を十年後には七十五万m³にすることを目標としております。



森林組合もこの基本方針と目標に向かつて、役員一丸となつて鋭意努力をしておりますので、組合員の皆さまにもご理解とご協力をいただきまして所期の目的が達成されますようお願い申し上げます。

結びにあたり、組合員の皆さまの益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

新役員の紹介

理事

第1区 上田市



小林 軍治



清水 重雄



母袋 創一

第4区 長和町長門



金澤 正廣



翠川 栄治

第3区 上田市丸子



依田 光永

第2区 東御市



花岡 利夫

監事



上田
大口 義明



依田窪
大沢 幹夫



川東・青木
橋詰 信幸

第7区 長和町和田



羽田健一郎

第6区 上田市武石



伊藤 定衛

第5区 上田市真田



渋沢 忍

学識経験者



大久保 守

第8区 青木村



堀内 順一



北村 政夫

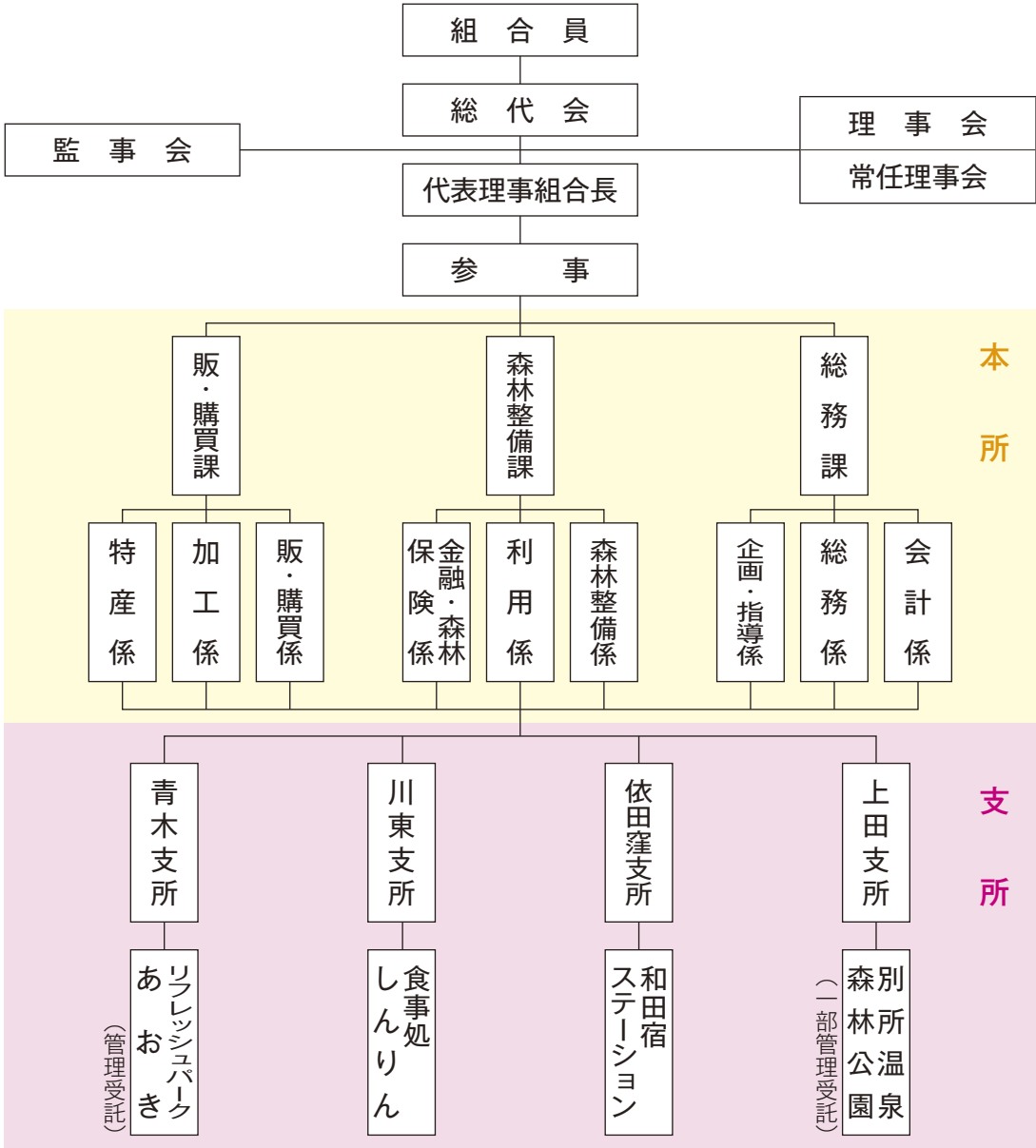
新役員執行体制

監事	監事	代表監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常任理事	常任理事	筆頭常任理事	副組合長理事	代表理事組合長
大沢幹夫	大口義明	橋詰信幸	堀内順一	伊藤定衛	渋谷忍	金澤正廣	翠川栄治	依田光永	小林軍治	清水重雄	北村政夫	花岡利夫	羽田健一郎	母袋創一	大久保守

任期：平成 26 年 3 月～平成 29 年 3 月

4 月より組織の機構改革をし、下図の体制にて業務を行っております。よろしくお願いします。

信州上小森林組合組織機構図



信州上小森林組合総代名簿

総代改選が行われ、200名の皆さんが総代に選ばれました。3年間よろしくお願いいたします。

任期：平成26年3月～平成29年3月

上田地区	林 正司 依田 儀明 芳坂 和行 舞沢 裕光 中曽根将人 関 薫 荒井 徹訓 宮澤 和広	金井 通徳 小松 元紀 堀田 醇 中沢 正彦 小林 一茂 神林 敬二 清水 広好 遠藤 富夫	工藤 善昭 児玉 茂 滝沢 淳 宮林 昭一 三井 博司 山岸 安夫 荒井 純平 大井 定雄	林 幸治 山下 哲 深井 恒雄 細川 義雄 倉島 長一 有坂 淳 土屋 博資 間島亥久男	関 清隆 荒井今朝雄 庄村 恵三 山崎 憲治 平林 徳雄 柄沢 勇 土屋 悦夫 石井 勇一	坂田 信博 齊藤 恵三 小林 正幸 山崎 正利 塩崎 治彦 清水 充男 久保田充男	47名
東御地区	大村今朝春 関 保徳	小林 郁夫	白井 悦生	丸山 等	別府 恒	小林 茂徳	7名
丸子地区	斉藤 茂喜 箱山 一美 吉池袈裟保 関 興康 中山文次郎	永井 三男 小平 倉雄 小林 健一 山岸 基 小林 靖司	永井 教雄 澤山 文雄 内堀袈裟土 北沢 良則 小林 恒雄	竹花 昭雄 小林 重義 滝沢 徳雄 関 哲 金井 衛彦	斎藤 邦男 飯嶋 繁夫 滝沢 哲夫 西沢 嗣徳 藤原 宏武	滝沢 芳一 清水 重信 白井 幸秀 中村 儀一 滝澤 市郎	30名
長門地区	原田 実 藤田 欣治 神野 良一 金子 廣邦 竜野 龍一	相馬 秀史 伊藤 文博 古畑 勇 清水 文夫	柳澤 政春 大井 正男 鳴海 潔 竜野 紀一	古川 正憲 大堀 子平 黒沢 直子 柳沢 初男	伊藤 正一 柳澤 孝 水出 義明 柳沢 勝徳	児玉 隆一 児玉 求則 両角 文夫 入澤 宏价	25名
真田地区	峰村 博行 一之瀬 勤 大塚 久文 北沢 功 関口 健治 堀内 雅広	酒井 喜一 佐藤 和雄 坂口 茂男 小林 常孝 山崎 正人 堀内 浅治	大久保寿広 倉島 一雄 滝沢健一郎 三井 英和 中村 功 荻原 活信	伝田 進 倉島 雄二 牧内 勝年 武捨 亮一 斉藤 士朗 半田 俊一	古畑 巖 久保 恒信 宮崎 浩幸 武捨 輝雄 佐藤 政道 塩崎 紘徳	一之瀬 幸 大熊 英彦 青木 史洋 橋詰 文男 堀内 六雄 一之瀬忠茂	36名
武石地区	武井 範夫 芹沢 輝夫 永井淳一郎	上原 育茂 近藤 利男 掛川 和	小山 幸雄 曲尾 行雄 小宮山徳昭	滝沢 一憲 坂部 詠章 清住 宗廣	宮下 貞夫 北澤 周 桜井吉右工門	荻原 長寿 滝澤 一成 竹内 雅彦	18名
和田地区	城下 忠正 羽田 勝 名取 久夫	田中 俊郎 山下 英樹	田中 佐忠 手島 正知	宮下 曾平 手島 邦和	小山 俊夫 工藤 圭一	上野 長男 小林 保経	13名
青木地区	大角 英雄 上原 新平 堀内 清 清水 明夫	鈴木 博文 宮下 渉 増田 勝夫 林 寛夫	西沢 明 櫻田 広雄 増田 隆雄 保土塚 彰	片田 章偉 尾和 秀範 多田 家定 上野 和信	小林 修 小山 恒男 工藤 直紀 花見 雄二	中澤知賀雄 田村 和男 池田 文彦 松田 貞盛	24名

(敬称略、順不同)

公益信託 農林中金80周年森林再生基金 助成が決定されました



手入れが遅れ、藪化した広葉樹



急傾斜地のため手入れが行き届かなかった森林

更に従来は林内に放置されていた広葉樹を活用し、次世代に向けた持続可能な森林経営体制の構築を目指します。

平成二十六年四月より、下記のスケジュールにより事業を進めて参りますので、よろしくお願ひします。

「農林中金80周年森林再生基金」とは

国内の荒廃した森林の再生により、森林の公益性を発揮させることを目的とした活動に対し助成されるもので、毎年多数の応募の中から、民有林の再生につながる優れた活動を選定し、費用の助成を通じた活動支援が行われています。

平成二十五年度（第九回）事業は、当組合を含め二十二件の応募の中から、七件の助成が決定されました。

平成二十五年度「公益信託農林中金80周年森林再生基金（F R O N T 80）」の助成事業に応募し、当組合の事業に助成金の支援が決定されました。

○事業名

「甦れ！ 十観山周辺

林業再生プロジェクト」

○事業対象地

小県郡青木村田沢（面積三四〇ha）

○事業の概要

当事業地区は、九割が緊急に間伐を行うべき森林であるにもかかわらず、急傾斜地であることに加え、森林所有者の高齢化などにより森林の荒廃が進んでいます。

そこで当事業では、施業集約化により境界等の森林情報をGISに蓄積すると共に、急傾斜地における高性能林業機械と高密度路網の組み合わせによる低コスト作業システムを構築し、森林所有者の負担を軽減した搬出間伐を推進します。

また、作業システムのコスト分析とマニュアル化を行い、

○今後の作業スケジュール

（平成26年4月～平成27年3月）

H26	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H27	1	2	3
説明会・集約化作業													
境界明確化・測量等調査・森林情報収集													
作業道開設・間伐・搬出・運材													
施業データ収集及びコスト分析													
薪・原木販売													

組合

の

活動

あれこれ

信州大生校外研修

十一月二十九日(金)



林業の専門課程を学ぶ信州大学農学部が校外研修で当組合を訪れ、地域の森林管理について学んだほか、高性能林業機械による林業の作業現場を見学しました。学生たちは日頃の学習に役立てようと、担当者の説明に真剣に耳を傾けていました。

クラフト体験会

十二月十四・十五日



蔓やドングリ、松ぼっくりなどの自然素材を利用した「クラフト体験会（リース作り）」を開催し、二日間で約八十名の方が参加されました。小さなお子さんから年配の方まで、森の植物の心地よい感触を実感しながら、リース作りを楽しみました。



新年安全祈願祭

一月六日(月)



新年の仕事始めに合わせ、安全祈願祭を行いました。山家神社の押森神官による拝礼、祝詞、玉串奉奠など、今年一年の無事故を職員全員で祈願しました。

平成 26 年度 安全スローガン
同じ状況は二度とない 一つの作業を大切に
その繰り返しが無災害

共有林等役員研修会

一月二十一日(火)



共有林等の役員の方を対象とした「共有林等役員研修会」を開催しました。
当日は、上小地方事務所林務課職員より補助制度等の説明を受けたほか、基調講演として『「林業県長野」を目指します』と題し、長野県林務部の塩原課長より、長野県の森林づくり政策を分かりやすくお話しただきました。
また、個別に森づくり相談会を行い、今後の施業計画について打ち合わせを進めました。

大型トラック導入

今年一月に、組合では六台目となる大型トラックを導入しました。地域林業の活性化と国産材の利用拡大に向け、搬出間伐の現場で活躍しています。



きのこ栽培講習会

三月十五日(土)

きのこ栽培の普及を目的として、原木を利用したきのこ栽培の講習会を、青木支所において開催しました。きのこ種菌メーカーの森産業(株)より講師を招き、シイタケやシメジの

栽培のポイントについてお話をお聞きしたほか、駒打ちの実演を行いました。



森林組合PR事業

実施中

昨年に引き続き、SBCラジオ「モーニングワイドラジオ」の中で、森林組合PR事業を実施しています。毎週月曜日、午前八時二十分より放送していますので、どうぞお楽しみに。

次回の放送予定

8月11日(月)

12月15日(月)

午前8時20分～

※4月より放送時間が変更になりました

「植木まつり」開催中!

六月一日(日)まで

毎年恒例の「植木まつり」を六月一日(日)まで開催しています。

豊富な種類の植木やガーデニング用の花、果樹苗木などを多種取り揃え、皆様のお越しをお待ちしております。庭造りのご相談も承りますので、お気軽にお声掛け下さい。

シイタケ、クリタケのほだ木も販売していますので、ご家庭でのきのこ栽培にチャレンジしてみたいかがでしょうか。この機会にぜひお出掛け下さい。



～植木まつりのご案内～

場 所：上小森林センター（森林組合本所）

上田市富士山 2464-226

期 間：4月5日(出)～6月1日(日)

時 間：午前9時から午後5時まで

☆係員が会場内をご案内しますので、お気軽にお声をかけてください。



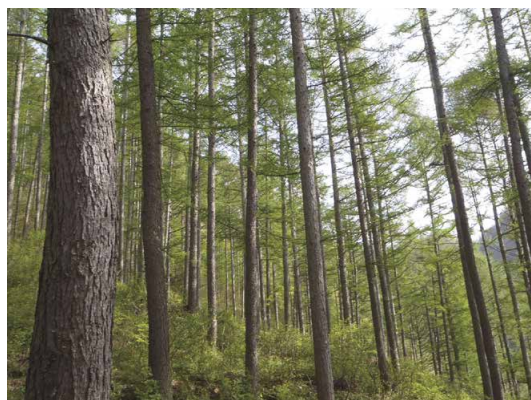


もり森のはたらき

～私たちの生活と森林～

上小地域の総面積は 90,534ha ですが、そのうち森林面積は約 65,000ha で、総面積の約 72% を森林が占めています。

-  森林は、山が崩れるのを防ぎます
-  森林は、水を貯えきれいにします
-  森林は、騒音を和らげ汚れた空気をきれいにします
-  森林は、リクリエーションの場所となります
-  森林は、木材やきのこの生産の場となります



当たり前のようにある森林は、目に見えない様々なはたらきで、私たちの暮らしを支えています。

もり森レシピ



自然をたのしむ

野外料理にチャレンジ！

「竹筒オムレツ」の作り方

【材料】

竹筒（直径10cm、長さ60cm位）1本
卵（3～5個）、バター（適量）
お好みで、ベーコンなど（適宜）
塩・コショウ（適量）、加熱用の炭火

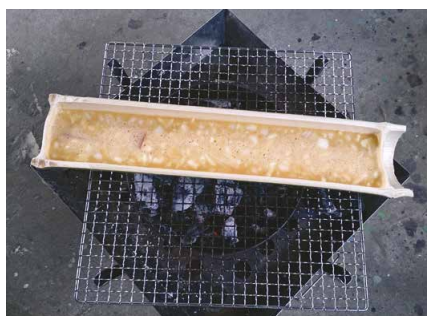
【作り方】

- ① 竹を半分に割り、内側をよく洗って乾かしておく。
- ② 卵と、塩・コショウをボールなどで混ぜておく。
- ③ 竹筒の内側にバターを塗り、②を注ぎ込む。
- ④ 半割りした竹で蓋をして、5～10分火にかけてできあがりです。



蓋をして火にかけます。
硬くなり過ぎないように注意しましょう！

里山の厄介者である「竹」
を上手に活用して、森の
恵として楽しみましょう。



バターを塗って卵を注ぎ込みます。



竹を半分に割ります。

ニューフェイス 紹介

4月1日より7名の新しい仲間が増えました。
組合員の皆さん、どうぞよろしくお願いします。



技能職員 山岸 尚将

社会人としての自覚
を持って、頑張ってい
きたいです。



技手 笠井 悠

分からないことがた
くさんありますが、皆
さんから信頼される職
員を目指して、頑張り
ます。



技能職員 古越 智哉

初めての仕事で緊張
していますが、精一杯
努力していきたいです。



技能職員 下村 悠

責任を持って、仕事
をしていき、早く仕事
に慣れるように頑張っ
ていきたいです。



技能職員 中村 勇介

一日も早く先輩方に
追いつけるように努力
します。よろしくお願いします。



技能職員 久保寺幸太

4月から社会人にな
り、自覚を持って一日
でも早く仕事を覚えて
いきたいです。



技能職員 尾美 良一

先輩方、同期の方と
コミュニケーションを
とって、楽しく仕事を
したいです。

※発表は商品の発送をもってかえさせて
いただきます。
(平成26年6月30日消印有効)

〈応募はがきの記入方法〉

- ①クイズの答え
②住所・氏名・
年齢・電話番号
③組合、広報誌へ
の意見がござい
ましたらご記入
下さい。

裏

〒 386-1212
上田市富士山
2464-226
信州上小森林組合
やまびこ編集部

表

正解された方の中から、抽選で
3名様に、食事処「しんりん」の
1,000円分の御食事券をプレゼ
ントします！

③	①
72%	52%
④	②
82%	62%

次の①～④の中から正解の番号を
選び、はがきに書いてご応募ください。

問題

上小地域の面積のうち、森
林が占める面積は何%で
しょうか？



組合からの お知らせ

●人事のお知らせ

〔採用〕

職員

四月一日付

笠井 悠

(森林整備課兼上田支所技手)

技能職員

四月一日付

古越 智哉

山岸 尚将

中村 勇介

久保寺幸太

下村 悠

尾美 良一

〔退職〕

技能職員

十二月三十一日付

松尾 卓 (依田窪支所)

二月十五日付

高橋 淳 (上田支所)

〔異動〕

職員

四月一日付

参事兼総務課長

石井 公彦 (総務課長)

総務課主任

工藤 美和 (企画課書記)

総務課書記

永井ひかり (青木支所書記)

森林整備課長

土川 哲志

(森林整備課長兼上田支所長)

森林整備課主任

田中憲一郎 (企画課主任)

森林整備課書記

片桐 弘恵

(森林整備課兼上田支所書記)

販・購買課長兼小牧フォーレス

ト靈園出向

高井 紀和 (依田窪支所長)

販・購買課付兼小牧フォーレス

ト靈園出向

成田 吉伸 (青木支所長)

販・購買課係長兼小牧フォーレス

スト靈園出向

小島しま江

(販売課係長兼小牧フォーレスト

靈園兼(株)信州フォーレスト出向)

上田支所長

出浦 一 (川東支所長)

上田支所長代理

中村 武志

(森林整備課兼上田支所主任)

上田支所技師

塚原 哲夫

(森林整備課兼上田支所技師)

上田支所技師

中沢 倫季

(森林整備課兼上田支所技師)

上田支所書記

綿内 美穂 (総務課書記)

上田支所嘱託職員

加藤 茂子

(森林整備課兼上田支所書記)

依田窪支所長

山下 貴之 (依田窪支所長代理)

依田窪支所技師

吉池 和

(森林整備課兼上田支所技師)

依田窪支所技手

岸田 聖司

(企画課兼上田支所技手)

川東支所長

召田 祐治

(販売課長兼小牧フォーレスト靈園出向)

青木支所長

久保 航太(青木支所長代理)

青木支所技師

山崎 恭平(依田窪支所技師)

●森林施業プランナー試験

二名合格

三月に実施された「森林施業プランナー認定試験」に二名の職員が合格しました。

青木支所 宮澤 潤
依田窪支所 吉池 和

これにより、当組合の森林施業プランナーは六名となりました。

あ と が き

当組合が広域合併してから平成二十七年で二十周年を迎えます。大きな節目となる来年は、各種の記念行事を開催し、組合員の皆さまに日頃の感謝をお伝えしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

■信州上小森林組合

本所・上田支所／☎0268-39-8522・FAX.0268-39-8523
川東支所／☎0268-72-3703・FAX.0268-72-3881
依田窪支所／☎0268-68-2172・FAX.0268-68-2056
青木支所／☎0268-49-2021・FAX.0268-46-2641